

弥生PAPカンファレンス 2023 秋 オンライン配信Q&A集

本Q&A集は2023年11月時点の回答となります。原則、回答は弥生 24 シリーズご利用を前提に回答しています。
実際にいただいたご質問を各製品・サービスへ分類、抜粋して掲載しています。
多くのご質問をいただき、ありがとうございました。

	ご質問	回答
スマート証憑管理	スマート証憑管理でデジタルインボイスを送受信する場合、利用料金がかかりますか？	デジタルインボイス送信と受信は、「スマート証憑管理」の機能の一部として提供します。「スマート証憑管理」は、「弥生シリーズ」をご利用中のユーザー※1であれば追加費用無しでご利用いただくことができます。下記URLの説明も合わせてご覧ください。 https://www.yayoi-kk.co.jp/company/pressrelease/20231024.html
スマート証憑管理	スマート証憑管理はAI-OCRによりインボイスの適格性の判定をしてくれますが、スマート取引取込にも同様の機能はありますか。	スマート取引取込のスクンデータ取込も登録番号から国税庁のデータと照合し、検証結果を請求書区分へ反映します。下記URLのP.15-16も合わせてご確認ください。 https://www.yayoi-kk.co.jp/smart/d_file/smart_operation_guide_02.pdf なお、スクンデータ取込のOCRは登録番号の読取りに対応しておりませんので、何卒ご了承ください。
スマート証憑管理	スマート証憑管理でクラウド上に保存されたデータは、後日、取り出す事は可能なのでしょうか。	「スマート証憑管理」でクラウド上に保存した証憑のファイルはダウンロードが可能です。ダウンロードの手順については以下URLをご確認ください。 https://support.yayoi-kk.co.jp/faq_Subcontents.html?page_id=26966
スマート証憑管理	クレジットカード明細を「スマート取引取込（口座連携）」で仕訳を取り込むと「各取引日」で仕訳がされますが、「スマート証憑管理」から仕訳生成した場合も同じでしょうか？「明細発行日」などに一括変更できませんでしょうか？	「スマート証憑管理」はクレジットカード明細の会計連携には対応しておりません。「スマート証憑管理」でクレジットカード明細をアップロードする場合、証憑種別に「その他」をご選択いただく必要がございます。しかしながら、「その他」をご選択いただいた場合はAI-OCR並びに会計連携には対応しておりませんので何卒ご了承ください。
スマート証憑管理	スマート証憑管理を利用していても事務処理規定が必要と記載があることを確認したのですが、JIIMA認証があるシステムを利用しているのに事務処理規定が必要なのでしょうか？	「電子取引のデータ保存」を前提に回答させていただきます。 手動でスマート証憑管理にアップロードする場合、保存を開始する前に事務処理規程の準備が必要となります。 事務処理規程の詳細については以下をご覧ください。 https://www.yayoi-kk.co.jp/kaiketsu/denshichobo/products/#anc-02
スマート証憑管理	記帳代行の顧問先について、スマート証憑管理を導入した場合、スキャンのみを顧問先へお願いし、仕訳変換は会計事務所で行うことは可能ですか？	そのような運用も可能でございます。 https://www.yayoi-kk.co.jp/pap/service/efficiency/invoice/kichodaiko.html
スマート証憑管理	将来的にはスマート取引取込とスマート証憑管理のどちらを使用していた方がよろしいでしょうか？	スマート取引取込とスマート証憑管理は主な利用用途/機能が異なります。 スマート取引取込は口座自動連携や仕訳生成のAIのエンジンを指し、スマート証憑管理はインボイスや電帳法対応をするためのサービスを指します。 そのため両方を組み合わせてご利用いただくことをお勧めいたします。
スマート証憑管理	スマート証憑管理及びスマート取引取込みからのスキャン取込みについて、取り込まれる際の解像度設定等は事前に設定しておく必要がありますか？	ご認識いただいております通り、ご利用いただくスキャナ側で設定が必要となります。具体的な設定内容に関してはご利用いただいているスキャナのメーカー様へお問い合わせいただけますと幸いです。
スマート証憑管理	PDFをダウンロードするのは可能でしょうか？	PDFのダウンロードは可能です。以下操作をお試しください。PDF画面の上で右クリックをしていただくとメニューに「名前を付けて保存」あるいは「対象をファイルに保存」が表示されるのでそちらをクリックしてください。あとは保存場所を指定してダウンロードを実行してください。
スマート証憑管理	スマート証憑管理が複数事業所で利用できるようになったそうですが、「事務所の会計ファイルとの連携用」「お客さまへのデモ用」と使い分けられますか。（もともと「デモ用」として使っていて、事務所としても利用したいと考えています。）	弥生PAP会員（会計事務所）自身が「スマート証憑管理」で複数事業所データの管理をご希望の場合、対応方法が2つありまして、どちらかをお選びいただく形となります。詳細は以下インフォメーションをご確認ください。 ▽「スマート証憑管理」で複数事業所データの管理をご希望のお客様へのお知らせ（要ログイン） https://www.yayoi-kk.co.jp/pap/member/info/partner-20230908-2.html#anc-1
スマート証憑管理	レシート等の証憑を仕訳に後付けできる機能が搭載されると聞きましたが、期待してよろしいでしょうか。	現在開発を進めております。 詳細が決まり次第、ニュースレター等でご案内いたしますので少々お待ちください。
記帳代行支援サービス	スキャンしたものはスマート証憑管理にもアップされるとありましたが、事前にクライアントに弥生IDを取得してもらう必要はありますか。	スマート証憑管理へ証憑を連携するには、顧問先様へ記帳代行用ツールの利用依頼を行っていただく必要がございます。顧問先様が記帳代行用ツールの利用をご承認いただく過程で弥生IDを取得いただく流れとなります。手順書のリンクをご案内いたしますのでご参照ください。 https://www.yayoi-kk.co.jp/pap/d_file/guide/kichodaiko_guide_pap_08.pdf

記帳代行支援サービス	スマート証憑管理を経由する場合と記帳代行サービスでスキャンして会計事務所で行うのでは何が違うか教えてください。	<p>まず、スマート証憑管理はPAP会員と顧問先の双方が証憑をアップロード、仕訳化することができます。</p> <p>証憑データ化サービスはPAP会員のみ証憑をアップロード、仕訳化することができます。続いて、各サービスの仕様に関してご説明いたします。</p> <p>【対応証憑】 スマート証憑管理が領収書や請求書に限定される一方で、証憑データ化サービスはクレカ明細や通帳、現金出納帳にも対応しております。</p> <p>【品質】 証憑データ化サービスがオペレーターがダブル入力で精度を担保する一方で、スマート証憑管理はAI-OCRで読み取る為、データ化の精度が落ちます。なお、何れの場合もスマート取引取込の自動仕訳機能（摘要を元に勘定科目を設定）を利用してしております。</p> <p>【納期】 証憑データ化サービスが1営業日以内に納品、スマート証憑管理は数秒から数分以内に納品いたします。</p> <p>【料金】 証憑データ化サービスが従量課金（1枚18円～）される一方で、スマート証憑管理は従量課金が発生しません。</p>
記帳代行支援サービス	「スキャンセンターfor弥生」と「記帳代行支援サービス」で合計2万円かかるということでしょうか？	<p>①記帳代行支援サービスは弥生へのお申し込み、 ②スキャンセンター for 弥生は「株式会社うるるBPO」が運営するサービスのため、「株式会社うるるBPO」へのお申し込みとなります。</p> <p>両サービスをご利用いただく場合、基本料金としては記載いただいた通り、合計2万円がかかります。</p> <p>①記帳代行支援サービスの基本料金：10,000円/月（記帳代行ライセンス10Lを含む） ②スキャンセンター for 弥生：10,000円/月（利用顧問先10件分のストレージ利用料を含む）</p> <p>一方で、 ①記帳代行支援サービスに関してはサービスの利用状況により、基本料金以外に「追加ライセンス料金」や「証憑データ化料金」がかかる場合がございます。</p> <p>②スキャンセンター for 弥生に関しても、サービスの利用状況により、基本料金以外に「顧問先追加料金」や「スキャン料金」がかかる場合がございます。</p> <p>それぞれの詳細は以下ページをご覧ください。 ①記帳代行支援サービス：https://www.yayoi-kk.co.jp/pap/lp/kichodaiko/ ②スキャンセンター for 弥生：https://www.yayoi-kk.co.jp/pap/lp/scandaiko/</p>
記帳代行支援サービス	証憑データ化サービスと記帳代行支援サービスとの連携方法を教えてください。	<p>記帳代行支援サービス(証憑データ化サービス)の事前準備から仕訳の取込・確認を行うまでの一連の流れやサービスの利用に必要な設定については以下をご参照ください。</p> <p>▽【会計事務所向け】記帳代行支援サービス簡易手順書 https://www.yayoi-kk.co.jp/pap/member/service/efficiency/kichodaiko/contractor.html</p> <p>その他の手順書についても以下にございますのでご確認いただければ幸いです。</p> <p>▽ご契約者向けサポートコンテンツ（要ログイン） https://www.yayoi-kk.co.jp/pap/member/service/efficiency/kichodaiko/contractor.html</p>
弥生会計・弥生会計オンライン	固定資産台帳の仕訳を登録するという機能から仕訳を作成する場合、一括償却資産も同時に振替伝票に自動的に仕訳に表示させることは可能でしょうか？	<p>一括償却資産については、自動で仕訳書き出しすることができません。帳簿や伝票で減価償却費の仕訳を行ってください。 https://support.yayoi-kk.co.jp/faq_Subcontents.html?page_id=17895</p>
弥生会計・弥生会計オンライン	関与先が入力している「やよいの青色申告オンライン」を弥生会計AEで開くことは可能でしょうか？	「やよいの青色申告オンライン」を弥生会計AEで開くことはできません。
弥生会計・弥生会計オンライン	関与先があまり取引のない銀行口座を持っており有料のインターネットバンキングを契約していないのですが、弥生会計オンラインでデスクトップ版の様に預金出納帳に残高を見ながら入力することは可能でしょうか？	<p>弥生会計オンラインでは、預金出納帳での入力はできません。「仕訳の入力」機能を使用して入力いただけます。 https://support.yayoi-kk.co.jp/product/account-online/shiwake_m.html</p>
弥生会計・弥生会計オンライン	帳簿のみで仕入税額控除できる取引を簡単に摘要に入力する方法はありますか？	<p>摘要欄に何か判別するためのものを入力できるか？という意図でご回答いたしますが、システム上でそのような専用の仕組みはございません。 摘要辞書等に何か任意の文言等を登録いただき、仕訳入力の都度選択いただく等でご対応いただくことになると思います。</p>
弥生会計・弥生会計オンライン	クレジットカード明細を「スマート取引取込（口座連携）」で取込み後、各仕訳に電子で発行された領収書等を紐づけて保存し、電子取引の電子帳簿保存に対応させることは可能ですか？	ご記載の機能は多くのご要望を頂戴しており現在、検討中です。進捗があり次第、ニュースレター等でご案内させていただきます。
弥生会計・弥生会計オンライン	弥生会計24シリーズが+クラウドになるとのことですが、現在使用している24シリーズも対応されるのでしょうか？新バージョンに更新すれば使えますか？「あんしん保守サポート」へ加入すれば自動的に使えるようになるのでしょうか？	仕訳を自動化する「スマート取引取込」、インボイス制度ならびに電子帳簿保存法対応の起点となる「スマート証憑管理」、データやり取りを会計事務所と行うことができる「弥生ドライブ」などのクラウドをベースとしたサービスを従来よりご提供しておりましたが、製品機能をお客様により具体的にお伝えすることを目的に、「弥生会計24 +クラウド」のように、全ての製品名に「+（プラス）クラウド」を今回の24シリーズから追記しました。
弥生会計・弥生会計オンライン	弥生会計でインボイス保存不要特例の対象取引については摘要に記載するしかないのでしょうか？	弥生会計の入力項目において、特例の対象となることを明示できる専用の項目は無いため、対応方法の一例として、摘要にその旨を記載する運用方法になるかと思われます。

弥生会計・弥生会計オンライン	9/30以前に契約締結をした所有権移転外ファイナンス・リース取引について、賃貸借取引として会計処理を続けていました。10/1以降は区分100%か適格100%かどちらを選択するのでしょうか？	<p>所有権移転外ファイナンスリースの処理において、9月30日以前にリースを開始した取引の請求書区分を確認されたいということです。</p> <p>ファイナンスリースの場合は、2023年9月30日までにリース契約を行ったリース取引は2023年10月1日以降に支払うリース料についても、請求書区分は「区分記載」・仕入税額控除は「100%」を選択します。</p> <p>10月以降の日付で「区分記載 100%」の取引を入力すると、以下の確認メッセージが表示されます。</p> <p>メッセージ：「仕入税額控除が「100%」で設定されています。仕入税額控除「80%経過措置」の期間ですが、登録してよろしいですか？」</p> <p>「はい」をクリックして、登録いただきますようお願いいたします。</p>
弥生会計・弥生会計オンライン	少額特例が利用出来る関与先で、1万円未満の領収書について申告書に集計される関係上、区分100%又は適格100%のどちらで会計処理をするのが適切でしょうか？	<p>弥生会計は「適格」「区分記載」のどちらを選択しても、「仕入税額控除」が「100%」であれば消費税申告書（付表を含む）の金額には影響しません。</p> <p>「少額特例」と「公共交通機関特例」等の帳簿のみの保存で仕入税額控除が認められる取引の「請求書区分」の選択については、弊社Webページの「よくある質問（FAQ）」に記載しております。</p> <p>お手数ですが、以下のURLからご確認をお願いいたします。</p> <p>◎「帳簿のみの保存で仕入税額控除が認められる取引の「請求書区分」の選択について」 https://support.yayoi-kk.co.jp/faq_Subcontents.html?page_id=28094</p> <p>◎「インボイス少額特例とは」 https://support.yayoi-kk.co.jp/faq_Subcontents.html?page_id=27853</p>
弥生給与・弥生給与Next	弥生給与Nextは、デジタル仕様と書かれていますがクラウドということでしょうか？デスクトップアプリでしょうか？	「弥生給与 Next」ならびに「やよいの給与明細 Next」は、クラウドサービスとしてご提供しております。
弥生給与・弥生給与Next	弥生給与は弥生PAP会員は1ライセンスは使用できますが、弥生給与Nextは使用できますか？	「弥生給与 Next」はパートナー版として、弥生PAP会員に提供いたします。ただ、作成、利用できるのは1データのみで、顧問先をはじめとした第三者へは提供できません。
弥生給与・弥生給与Next	給与製品のラインナップはいくつになりますか。弥生給与へ連携するとどのような場合にメリットがあるのでしょうか。従来製品とNextの違いなどを教えてください。また製品比較表があれば教えてください。	<p>給与製品は、デスクトップソフト（弥生給与、やよいの給与計算）とクラウドサービス（弥生給与 Next、やよいの給与明細 Next）の2種4製品となります。</p> <p>また、弥生給与への連携ですが、年末調整時に年税額計算機能を有さない「やよいの給与明細 Next」の賃金台帳データを連携できるため、会計事務所が年末調整代行を請け負っているケースでもご利用できます。</p> <p>これまで提供していた「やよいの給与明細 オンライン」は「やよいの給与明細 Next」に2023年10月20日に名称変更しておりますので、画面周りなどに違いはございません。給与各製品の機能比較表は以下ページをご参照ください。https://www.yayoi-kk.co.jp/products/function_list/#anchor-03</p>
弥生給与・弥生給与Next	弥生給与 24では、クライアント先の従業員に直接給与明細を配信する機能の搭載はないということですか？配信したい場合は弥生給与 Nextを利用しないといけないのでしょうか。その場合、配信したいクライアント数分のライセンスを購入しないと対応できないのでしょうか。	<p>ご認識の通り、弥生給与24では、従業員への明細のWeb配信は行えません。弥生給与24で給与計算代行を行っている場合には、弥生給与の連動製品（Web給金帳Cloud、Focus U 給与明細 for 弥生）でのWeb配信を推奨いたします。</p> <p>https://www.yayoi-kk.co.jp/products/linkage/#kyuyo</p>
弥生給与・弥生給与Next	弥生給与で、複数人の給与明細をpdfファイルでクライアントに送る場合、個人ごとのファイルで作成できますか？	<p>誠におそれいりますが、弥生給与のデスクトップ版の場合は、給与明細のPDFファイルを従業員個人ごとに分割して作成する機能を備えておりません。</p> <p>弥生給与Next / やよいの給与明細 Nextでは、給与明細のPDFファイルを従業員ごとに分割して作成する機能を備えております。</p>
弥生給与・弥生給与Next	デスクトップ版弥生給与を使用しています。弥生給与Nextへのデータ移行後、年末調整業務は可能ですか？	<p>弥生給与Nextは年末調整機能を搭載しておりますので、年税額計算から法定調書の出力までの年末調整業務は対応可能です。</p> <p>なお、弥生給与からのデータ移行に特化した機能を現時点では弥生給与Nextで搭載していないため、導入時の初期設定などは手入力等で行っていただく必要があります。</p>
弥生給与・弥生給与Next	弥生給与Nextで作成された控除申告書は他会計ソフトでも取り込み可能ですか？国税局の出された年調アプリとの違いを教えてください。	<p>弥生給与Nextの「Web年末調整申告書」機能で収集された控除申告の情報は弥生給与Nextでの年末調整計算で利用できるほかに、NTTデータの「年調・法定調書の達人」に連携することが可能です。</p> <p>弥生給与Nextの「Web年末調整申告書」は国税庁の「年調ソフト」と比べ、対象従業員への一斉依頼通知や提出状況の管理、弥生給与Nextに登録済みの従業員や家族の情報を基にした申告事項の入力支援、弥生給与Nextでの年末調整計算への自動反映といった利便性がございます。</p>
弥生給与・弥生給与Next	社会保険料率の自動アップデート化はいつから開始しますか？	<p>デスクトップソフトの弥生給与におきましては、社会保険料率はお客様にて設定・変更をいただくこととなります。誠に恐れ入りますが、弥生の法令改正情報ページ等でご案内する要領でご対応のほどお願い申し上げます。</p> <p>なお、クラウドサービスの弥生給与 Next / やよいの給与明細 Nextにおきましては、協会けんぽの健康保険料率・介護保険料率の自動アップデートに対応いたしております。</p>
その他	Peppol IDは海外ともやりとりできるものですか？	デジタルインボイスは国際標準仕様「Peppol」をベースとした日本の標準仕様（JP PINT）に準拠しています。その為、海外のデジタルインボイス提供ベンダーが日本のデジタルインボイスの標準仕様（JP PINT）に対応していない場合は、送受信できません。正常に送受信できない場合、送信時はエラー、受信時は未着となる恐れがあります。
その他	Peppol IDを間違ったら、間違った相手へ請求書が届いて閲覧できてしまうのを知りたいです。	間違った相手先のPeppol IDが存在していた場合、請求書は届いてしまいます。そのため誤送信のリスクは0ではありません。

その他

弥生会計Nextについて、現状のデスクトップ製品で満たしている機能を引き継ぐ形で開発を進めているのでしょうか？

弥生会計Nextは2024年にご提供を予定しております。現時点で具体的な機能をご紹介できないものの、順次ご案内できればと考えております。ご期待くださいませ。